

平成28年度九州大学大学院経済学府修士課程入学試験問題(一般選抜)

経済数学

次の2問の両方について解答せよ。

問1 (1), (2)の中から1つを選んで解答せよ。

(1) 行列  $A, P$  が以下で与えられたとする。

$$A = \begin{pmatrix} 0 & \lambda & 0 & 0 \\ 0 & 0 & \lambda & 0 \\ 0 & 0 & 0 & \lambda \\ 0 & 0 & 0 & 0 \end{pmatrix}, \quad P = \begin{pmatrix} 1 & 2 & 3 & 4 \\ 0 & 1 & 2 & 3 \\ 0 & 0 & 1 & 2 \\ 0 & 0 & 0 & 1 \end{pmatrix}.$$

ただし,  $\lambda$  は実定数である。また行列  $B$  は以下により定義されている。

$$B = P^{-1}AP.$$

このとき, 以下の問に答えよ。

(a)  $n$  を自然数とする。  $A^n, B^n$  を求めよ。

(b)  $n$  次正方行列  $X$  に対して,

$$e^X = E + \sum_{k=1}^{\infty} \frac{X^k}{k!}$$

と定義する。ただし,  $E$  は  $n$  次単位行列である。  $e^A$  を求めよ。

(c)  $e^B$  を求めよ。

(2) 次の広義積分を考える。

$$\int_0^1 \frac{\log x}{x^\alpha} dx.$$

ただし,  $\alpha$  は定数である。

(a)  $\alpha = 1$  のとき, この広義積分は収束するか否か, 理由とともに述べよ。

(b)  $\alpha > 1$  のとき, この広義積分は収束するか否か, 理由とともに述べよ。

(c)  $\alpha < 1$  のとき, この広義積分は収束するか否か, 理由とともに述べよ。

(d) この広義積分の値が  $-\alpha^2$  となったとする。このときの  $\alpha$  を求めよ。

問 2 (1), (2) の中から 1 つを選んで解答せよ。

(1) 次の線形計画問題 (P1), (P2) を考える。

$$\begin{array}{ll}
 \text{(P1)} \quad \min & x_1 \\
 \text{subject to} & 2x_1 - 5x_2 + x_3 \geq 3, \\
 & 4x_1 + 2x_2 - x_3 \geq 3, \\
 & x_1, x_2, x_3 \geq 0.
 \end{array}
 \qquad
 \begin{array}{ll}
 \text{(P2)} \quad \min & -y_1 - y_2 \\
 \text{subject to} & -2y_1 - 4y_2 \geq -1, \\
 & 5y_1 - 2y_2 \geq 0, \\
 & -y_1 + y_2 \geq 0, \\
 & y_1 + y_2 \geq 0, \\
 & -2y_1 + 8y_2 \geq 0, \\
 & 5y_1 + 3y_2 \geq 0, \\
 & y_1 \geq 0, \quad y_2 \geq 0.
 \end{array}$$

- (a) (P1) の双対問題 (D1) を与えよ。変数は  $z_1, z_2$  等を用いること。
- (b) (P1), (P2), (D1) にはいずれも最適解が存在する。(P1) の最適値を  $\alpha_1$ , (P2) の最適値を  $\alpha_2$ , (D1) の最適値を  $\beta_1$  とおく。(P2) と (D1) の制約条件, 目的関数の関係に注意し,  $\alpha_1, \alpha_2, \beta_1$  の間に成り立つ関係式を与えよ。
- (c)  $(x_1, x_2, x_3) = (1, 0, 1)$ ,  $(y_1, y_2) = (1/6, 1/6)$  はそれぞれ (P1), (P2) の実行可能解である。これらが共に最適解となっていることを示せ。

(2) 連続型確率変数  $X$  が次の確率密度関数をもつとする。

$$f(x) = K(a)e^{-ax} \quad (x > 0).$$

ただし,  $a$  は正定数,  $K(a)$  は  $a$  によって定まる数である。

- (a)  $K(a)$  を求めよ。
- (b) 期待値  $E[X]$  と分散  $V[X]$  を求めよ。
- (c)  $M(t) = E[e^{tX}]$  とおく。 $M(t)$  が存在するような実定数  $t$  の範囲を求めよ。また,  $t$  がその範囲にあるとき  $M(t)$  を計算せよ。
- (d) 次の極限を求めよ。

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \left\{ M\left(\frac{t}{n}\right) \right\}^n.$$